

年 組 名前

次の（ ）に入る言葉をスライドプリントから探して記入しましょう（10点満点）

<コミュニケーション>

1. コミュニケーションとは、2人以上の人間が（ア）を持つことを指し、思考や感情を共有したり、伝達し合ったりするものである。
2. 看護におけるコミュニケーションでは、患者に効果的な援助を行うため、患者と看護師が日々のコミュニケーションを通じて互いに相手を知り、（イ）を深めることが大切である。
3. コミュニケーションが成立するためには、送り手と受け手があって、互いに送るメッセージの（ウ）が理解されることが必要である。もしも、メッセージが誤って受け止められた場合には、有効なコミュニケーションは成立しない。
4. コミュニケーションの種類には、声や文字などによる（エ）コミュニケーションと声の調子や視線、表情、しぐさなどによる（オ）コミュニケーションの2種類がある。このうち、（カ）コミュニケーションの方が、コミュニケーションの6割以上を占める割合で伝達される。
5. コミュニケーションの基本である（キ）の効果として挙げられるのは、ありのままの患者を受け止め、患者の訴えを理解しようとする看護師の態度は、自分が尊重され、受け入れられ、自分の問題を一緒に考えてくれると患者に感じさせることができる。
6. 患者—看護師間の信頼関係を形成するための技法のうち、共感的な態度で大切なことは、患者のことを患者の内側 から理解することと、患者の持つ（ク）について一緒に考える姿勢である。
7. 面接技法のうち、聴き方のスキルとして挙げられるのは、最も短い応答技法と（ケ）技法である。また、質問のスキルとして挙げられるのは、限定質問と（コ）質問である。